

活動報告・情報交換 など

出席メンバーの勉強や活動を含む、近況報告をしてもらいました

- ・ 10/21の勉強会 10/21のNCK勉強会は『認知症患者介護者のグループ療法について』として臨床心理士の杉山秀樹先生にお越し頂きます。臨床心理士の病院でのお仕事やグループ療法について、また認知症患者の介護について勉強になります。ぜひご参加ください！
- ・ 11/18の勉強会 11/18のNCK勉強会は人間関係開発部会主催でワーク(または発表)を行う予定です。前回は感情(特に怒り)についてのワークを行いました(NCK-81-82で報告)。今回やってみたいことなどがあれば、部会長の長谷川さんにご提案ください！
- ・ 傾聴ボランティア 昨年11月からスタートした傾聴ボランティア(NCK-70, 73, 83, 85, 88で報告)ですが、先方のご都合により、この施設でのボランティアは終了することになりました([nck:472]参照)。いろいろ勉強になると好評でしたので、また機会があれば実施していきましょう！
- ・ ビジターご参加 今回は萩原さん(前回は第86回にご参加)が参加してくれました！
- ・ その他、情報交換や近況など

※ この内容は会員の個人的な活動を含むため
HP掲載版では省略いたします。

今後の予定

次回以降の予定です。ぜひご出席を !!

※ 毎月第1木曜・第3火曜日はNCKの勉強会です！(8月、12月は第1木曜のみ。1月は第3火曜のみ)

10月2日(木) 19:00~21:00 テーマ: カウンセリング実習
(19:30までに入ればポイントがつかます) 場所: 人形町区民館

10月21日(火) 19:00~21:00 テーマ: 「認知症患者介護者のグループ療法について」(傾聴部会)
(19:30までに入ればポイントがつかます) 場所: 人形町区民館

11月6日(木) 19:00~21:00 テーマ: カウンセリング実習
(19:30までに入ればポイントがつかます) 場所: 未定

11月18日(火) 19:00~21:00 テーマ: 研究発表(傾聴部会)
(19:30までに入ればポイントがつかます) 場所: 未定

場所詳細: 人形町区民館 <http://mappage.jp/S/S04.php?L=12&X=2.4397608735314&Y=0.62275808064978>

今回はメンタルヘルス部会(部会長：高橋さん)の主催で発表・ワークを行いました。

『メンタルヘルス休復職事例
～あなたはどうか対応する?～』



ファシリテーター高橋さん



事例を読んで考えているところです

と題して、実際の事例を紹介し、それについて話し合ってみました。

まず、事例1(実際の事例をもとにしています：添付資料1～3p)と、資料(休職及び復職に関するガイドライン・職場復帰支援プログラム ※これは添付できません)を読んで状況をつかみ、各登場人物の行動について考えてみました。

各登場人物の行動についての意見をまとめたものを右に示します(事例1)。

花子(休職の当事者)については、セルフケアの観点で事前に何かできなかったか? という意見がありました(本人も会社の対応としても)。

不調を訴えてからの花子の行動としては、「なかなか病院にいかない」「最終的には)連絡なしで欠勤する」「会社のメールに返信しない」などが問題点としてあげられましたが・・・、一方で、メンタルヘルス不調時にはそういう行動を取ってしまうケースもあることを理解しておく必要がある、という方向で意見がまとまりました。

この事例では登場人物の中に機転をきかせてうまく対応した人がいて、そこは良かったと思える反面、当事者の上長や会社全体としての対応としてはよくない点がいろいろ指摘されました。

状況の確認が遅かったり、不十分であったり、当事者へ説明・伝達すべきことを伝えられていなかったり、会社としては(ガイドラインはあるものの)具体的な対応方法が決まっていなくて問題があったのかもしれませんが。会社として危機感がなかったのでは? という指摘もありました。

また、花子(当事者)の上長についてはもう少し早い時点でできることがあったのではないかと意見が多かったです(当事者との連絡、周りの人からの情報収集など)。さらに、そもそも普段から部下の仕事の状況を把握していれば花子のメンタルヘルス不調は起こらなかったのでは? とも思えます。基本的にメンタルヘルスに関する知識が不足していたのではないのでしょうか。

このように事例を元に考えてみると、当事者(セルフケア)、上長(ラインケア)、会社(事業場内産業保健スタッフ等によるケア)として、事前にできることがいろいろあったことがわかります。

また、その後の状況(事例2：添付資料4～6p)を確認し、少し意見や心配な点を述べてもらいました(右記)。

<p><u>花子について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○仕事を抱えこむべきでなかったのでは? 上長が把握すべき? 花子が相談すべき? ○セルフケアの観点で、何もできなかった? ○会社は研修などやっていたか? ○病院に行かされたのなぜ? 行くの遅い。診断書の話出てたに... 1人(空さん)が、言ってくる人いなかったのかも。 ○条件、気の毒な面もあるし、花子の行動も問題ある。 ○連絡なしの欠勤はあります。 ○SNS見て、メール見てないの? ⇒会社の連絡を見られないケースもある。(心理的に拒絶? 会社からしはわり分けた?) ○携帯で連絡取ることにしたのは良かった。(空さんと花子は「会社の中では仲が良かった」という感じ) 	<p><u>花子の上長について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○花子の仕事の状況把握すべきでは? ○もっと早く、職場の他の人にきいてみるべき。(星子にも、他の人にも) ※322日、他の同僚までこないのは、契約社員の花子は同僚とかがあつたから。 ○上長、1/2の電話で、もう少し状況をきく(心配する)ことなかったの? ○「メンタル」という意識的な死の死では? →これは実際なかった。 ○診断書提出の件、もっと早く伝えるべき。(30日、おとせに4日目は) ○受診は「約束おぼえ」上長がハラハラ行動するた可能性なか? <p><u>星子について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○SNSで連絡したのよかったです。 ○そのおとせの対応、空さんについてのがよかった。
---	---

管理部・会社の対応について

- %の相談受けて、なぜ動かない? ・傷病手当金の話
- 早期の段階で自宅訪問すべきでは? 軍所に説明する機会あるか? (花子本人連絡は時間内のみ)
- 空さん1人に任せて、何もしていない? ・産業医が重たい
- 産業医とやり取り連絡がない。 ← 28日は家族に連絡はよかった。
- 空さんは自分の携帯も使用。空さんはよくやる反面、会社(管理部)としてはどうなの? (携帯留守電に「実家連絡おぼえ」をいれる)
- 過去に事例があった? → Yes. それで危機感なかったのでは。

空について

- 気晴らしで携帯で連絡とるよにしたら良かった。
- 傷病手当金の相談Good.
- 心療内科受診を勧めたのがよかったのでは?

花子について

- 疑問は... 復職して同じ部署に戻れる? →違う部署になるか? とは伝えとある。
- この感じ、3月では戻れなさな気が... →実際、3月では復職できなかった...
- 次の就職先で、病歴は分かるとは? →これは分らない。 →次に休職した場合は(就職後半年以内以内)健康同士で照会されることはある。
- 本人にとりて退職によつたのでは...?

編集後記

会報作成担当のコメント・つぶやき・ひとりごと... などなど

今回はメンタルヘルス不調による休復職事例について学んでみましたが、個々の対応について考えさせられるだけでなく、予防としてどんなことができたのか? という視点でも考えるべき点がいろいろありました。これをさらに「産業カウンセラーという立場で何が出来るか?」という視点で考えていくといいのかな? そんなことを思いました。勉強になりますね。【水口】